

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	YMCAクローバークラブ川越		
○保護者評価実施期間	2025年2月27日		～ 2025年3月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63	(回答者数) 52
○従業者評価実施期間	2025年2月27日		～ 2025年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個に応じたきめ細かい支援計画の作成を行いながら支援に当たっている	行動観察用紙を基に、児童・生徒の観察を実践している。どこにどのように目を向けたら良いのか、具体的な対策方法を持っている	他機関や関係者との連携を密にとっている。昨今の新情報をいち早く取得し、対応策がとれるように学習会議を定期的に行っている
2	SSTにとどまらずLSTを目指し、支援に当たっている	子ども達の生育環境は、厳しさを増し、社会的な支援の必要のある方々が増えている。だからこそ、LSTの充実は欠くことのできない支援だと考えている	YMCAのみにとどまらず、他機関、学校、家庭との連携は必須である。できるだけ出向き、情報を集めより深く個に関わりたい。
3	人を育てる場・機関であるとの自覚を持っている	ボランティアリーダー・大学生・大学院生等の参加できるプログラムを多く用意し、意図的に関わる機会を用意している	お磨迄の大学関係者ばかりではなく、他の大学や他の県等のリーダー等も参加しやすい環境づくりをしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者へ向けた講演会、必要な情報を得られる交流の場について	コロナ禍で、対面で行う講演会や交流会を中断せざるを得なかった	月1回の保護者の集いを実施しているが、この情報提供をさらに深めていきたい。
2	子ども達の成長を考えると、プログラム内容によってはセンターの部屋がやや狭く感じる時があるかもしれない	プログラム、集団の大きさを考慮して、思い切り身体を動かしたり、行動できるようにしている	引き続き、公共の施設の体育館やプールを使ったプログラムを導入していきます
3	様々な資格を有する人員配置にやや困難さがある	保育士、社会福祉士、教員免許状所有者は多く在籍しているが、他の資格はやや少ないかもしれない	経験のある専門性をもった職種の人を採用できるよう心がけます。

事業所名 YMCAクローバークラブ川越

公表日 2025年3月13日

利用児童数 63

回収数 52

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	9	0	5		法令を遵守したスペースを確保している。プログラム内容に合わせて公共施設等を利用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	46	1	0	5		学校、社会福祉、民間教育団体など様々なバックグラウンドを持つ職員を配置
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	8	0	10	入り口から教室までの通路がまっすぐだいたいと思う。バリアフリー化はされていないと思います。	賃貸契約のため、大幅な改築は難しいですが、必要に応じて整備します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	8	0	6		引き続き衛生面、美化活動に努めます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	52	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	51	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	52	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	51	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	50	1	0	0		保護者の意向を踏まえたアセスメントからサービス計画に沿って個別、集団の組み合わせで支援しています
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	51	1	0	0	固定化されているプログラムと新しいプログラムの両方がある。	引き続き、通常プログラムの他に個に合わせた特別プログラムを行います
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	11	10	15		地域で交流できる場を活用していきます
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49	2	1	0		契約時に説明、利用後には文書と口頭で説明をすることを基本としています
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	51	1	0	0		定期面談の際に説明しています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	44	3	2	3		月に1度保護者のつどいや兄弟で参加できる特別プログラムを開催しています
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	48	2	0	2		支援終了後の報告が基本ですが、健康や発達の状況について電話やメールを通して共通理解できるよう心がけています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	51	1	0	0		定期面談を行い、相談の内容により別途主たる担当者や専門家が対応しています
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	51	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	35	7	3	7	以前は川越センターで親会の交流会があり参加していたが現在は行われないので残念に思います。事業所としては支援をされているが、自分の家庭に対する支援はおこなわれなかった。	月に1度保護者のつどいや兄弟で参加できる特別プログラムを開催しています。コロナ禍で対面での交流の場が制限されていましたが、少しずつ増やします。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	48	1	0	3		引き続き、必要に応じて子どもへの個別支援、保護者への個別面談等を行います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	38	5	0	9		毎回の指導案にて活動内容を報告しています。また、メール等通じて情報発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	46	0	0	6		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	7	0	14		年間を通じて訓練はしていますが、保護者の方々に周知・理解していただけるよう努めます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	6	0	13		通常クラスにて、年3回防災に関するプログラムを行っています。保護者には、その内容を指導案で報告しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	41	5	1	5		子どもの安全管理については、会議や研修を通して職員間で意識の向上をさせながら支援してまいります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	5	0	10	その様な状況になった事が無いので分かりません。事故、怪我がない。	そのようなケースがあった場合は、すみやかな連絡と説明を行います
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	51	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	46	5	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	51	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	YMCAクローバークラブ川越
------	----------------

公表日 2025年3月13日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	人数や活動内容によって、活動場所を細かく使い分けている。必要に応じて机などを移動させている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2	やや狭い。広間があれば良い。取り組む課題内容によって空間を分けると意欲的に取り組める。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	気持ちを落ち着かせるためなど必要に応じて許可し見守っている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	0	定期的に会議を実施	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	月に1回会議を実施し業務改善につなげる。毎回、全員参加できると尚良い	全員が参加できるようなシフト調整を心掛けます
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	2	地域の方やボランティアを積極的に受け入れている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	月に1回研修会を実施している	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	保護者から提供された検査結果及び指導中の行動から確認している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	定期的に検討している。子どもの情緒も加味しつつ工夫している。大きな流れの中で細分化するよう取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	必要に応じて学校と情報共有したり、学校訪問等も行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	0	他機関との連携は必要に応じて行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	1		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13	0		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	定期的に加え、要望がある場合には不定期の面談は行っている		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	ペアトレは行ってないが、定期的に保護者の集いがある		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	13	0	月に2回交流の場を設けている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	ヒヤリハット等の情報を速やかに共有できるようにしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	定期的に広報を発行・配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	0	地域の団体等と連携し活動を実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	年に数回、計画・実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	情報共有は必須のものと常に心掛けている。 研修や掲示をしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	毎年のアンケートに記入欄を設け、保護者から情報を得ている。非常勤の看護師の指導のもと、内部で応急処置等の確認をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	ヒヤリハットレポート等を作成、共有し事故防止に努めている。ヒヤリハット等の情報は速やかに共有できるようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	通年を通して、研修が設けられている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0			